

# 第 7 期 新宿区多文化共生まちづくり会議

## 第 8 回会議（2026 年 3 月 25 日）資料

### 第 2～7 回会議の概要

## 第2回会議（情報の共有）・新宿区の状況、取組

開催日 令和6年12月11日(水)

第2回会議では、新宿区の外国人住民の状況や、地域特性について説明を受け、各委員が新宿区の状況について認識を深めました。

会議では「外国人の住みやすい地域というのは、日本人にとっても住みやすい地域でなくてはならない。」などのご意見がありました。

### 【資料の概要】

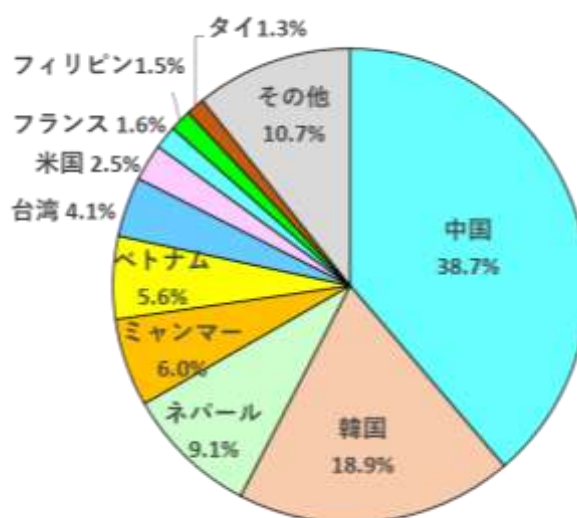
#### ◆新宿区の人口

2024（令和6年）12月1日 （人）

|          |     | 男       | 女       | 合計      |
|----------|-----|---------|---------|---------|
| 住民基本台帳人口 |     | 177,700 | 175,629 | 353,329 |
| 内訳       | 日本人 | 152,379 | 152,665 | 305,044 |
|          | 外国人 | 25,321  | 22,964  | 48,285  |

#### ◆外国人住民の国籍別人口（上位10）

| 順位 | 国名    | 人数     | %     |
|----|-------|--------|-------|
| 1  | 中国    | 18,706 | 38.7% |
| 2  | 韓国    | 9,126  | 18.9% |
| 3  | ネパール  | 4,380  | 9.1%  |
| 4  | ミャンマー | 2,904  | 6.0%  |
| 5  | ベトナム  | 2,725  | 5.6%  |
| 6  | 台湾    | 1,974  | 4.1%  |
| 7  | 米国    | 1,217  | 2.5%  |
| 8  | フランス  | 759    | 1.6%  |
| 9  | フィリピン | 714    | 1.5%  |
| 10 | タイ    | 607    | 1.3%  |
|    | その他   | 5,173  | 10.7% |
|    |       | 48,285 |       |



#### ◆外国人住民の在留資格（上位10）

| 順位 | 在留資格         | 人数     | %     |
|----|--------------|--------|-------|
| 1  | 留学           | 16,637 | 34.5% |
| 2  | 永住者          | 8,529  | 17.7% |
| 3  | 技術・人文知識・国際業務 | 7,299  | 15.1% |
| 4  | 家族滞在         | 4,648  | 9.6%  |
| 5  | 特定活動         | 2,306  | 4.8%  |
| 6  | 定住者          | 1,510  | 3.1%  |
| 7  | 経営・管理        | 1,258  | 2.6%  |
| 8  | 特別永住者        | 1,173  | 2.4%  |
| 9  | 技能           | 1,168  | 2.4%  |
| 10 | 日本人の配偶者等     | 1,057  | 2.2%  |

◆新宿区の地域特性

●活気ある繁華街、高層ビルが立ち並ぶビジネス街



伎町の繁華街



西新宿の高層ビル街

●みどり溢れる公園、潤いある河川



新宿御苑



神田川

●閑静な住宅街、趣のある街並み



落合の住宅街



神楽坂の路地裏

●文化・歴史縁のある文化人、歴史的な建造物や史跡、伝統文化の継承



漱石山房記念館（夏目漱石）



高田馬場の流鏝馬（やぶさめ）

●人々が集う、賑わい都市・新宿



大新宿区まつり ふれあいフェスタ



大久保公園を活用したイベント

## 第3回会議（交流事例の紹介）・地域の祭、イベント

開催日 令和7年3月25日(火)

第3回会議では、日本人と外国人が地域で交流している具体的な事例について情報共有しました。会議では「外国人もイベントの運営に参加するとよい」「交流はイベントだけでなく様々な機会がある」などのご意見がありました。

### 【資料の概要】

#### ●盆踊り

▼留学生が盆踊りに参加



▼出身国の紹介ブースを出展



▼運営（自転車整理等）に協力



#### ●料理体験（外国の文化や言葉を学びながら料理を体験）

▼NPO 団体によるタイの料理講習会



▼フランスのクレープ作り（日本語学校と地域の町会が参加）



#### ●スポーツ

▼箱根山駅伝大会には外国人も参加



#### ●日本文化の体験

▼国際交流「ひなまつり」【新宿未来創造財団】



#### ●地域センターまつり

地域コミュニティの拠点である地域センター（区内10か所）でお祭りを開催。

▼大久保地域センター 五月まつり  
多文化コミュニティカフェ



▼榎町地域センターまつり  
モルドバ共和国の展示



●大新宿区まつり「ふれあいフェスタ」(秋に開催される区主催のイベント)

日本の伝統文化とともに外国文化の紹介、外国の食べ物の販売も行っています。



●図書館でのイベント 【大久保】

大久保図書館では、外国語の絵本の読み聞かせなどに取り組んでいます。



●清掃活動

▼留学生が清掃活動に参加



●防災訓練

日本人と外国人が防災訓練に参加することで、災害時に共に助け合う意識が

●安全・安心の活動

日本人と外国人と一緒に防犯・防火に取り組むことで、安全・安心なまちづくり



## 第4回会議（事業検証・振り返り）・交流を促進するための情報提供等

開催日 令和7年6月18日(水)

第4回会議では、区の多文化共生に関する事業の内容と実績をもとに検証と振り返りを行いました。会議では「情報は発信するだけでなく、どのように人へつなげていくかが大事」などのご意見がありました。

### 【資料の概要】

#### 1 交流を促進するための「情報提供」に取り組んでいます

##### (1)外国語版SNS

行政情報、生活情報、災害時の情報を提供しています。**お祭りやイベントの情報も提供しています。** 1か月に10～15件程度配信 Facebook、X、LINE、微博

###### 【お祭りやイベントに関する情報】

- ・早稲田さくらまつりが開催されます！
- ・新宿年末クリーン大作戦
- ・大新宿区まつりふれあいフェスタ
- ・新宿中央公園夏まつり納涼盆踊り大会
- ・行こう！触れよう！防災フェス in 歌舞伎町
- ・大久保五月まつり
- など



##### (2)外国語広報紙（新宿ニュース）

地域のイベント、まち歩きスポット、図書館やスポーツ施設など、**交流を促進させる情報**を掲載しています。発行：年3回発行

###### 【過去に掲載した交流促進に関する記事】

- ・地域のイベントに参加してみませんか？
- ・町会・自治会で地域のつながりを深めよう
- ・図書館に行こう！
- ・区内のスポーツ施設
- ・日本の年中行事
- など



##### (3)外国語生活情報誌

生活に必要な情報を掲載しています。その中で「**近所付き合い**」**「町会・自治会」**など、**地域参加を促進させる情報**を掲載しています。また、図書館やスポーツ施設、博物館、地域センターなど**交流の拠点となる施設**も掲載しています。

- ①緊急時や災害に備えて
- ②届け出・税金
- ③保険・健康管理・福祉
- ④仕事・在留資格
- ⑤出産・子育て・教育
- ⑥暮らし
- ⑦スポーツ・図書館・学習・博物館
- ⑧便利情報



#### (4)外国人向け生活情報ホームページ

生活に必要な情報を掲載しています。その中で「**近所付き合い**」「**町会・自治会**」など、**地域参加を促進させる情報**を掲載しています。

また、図書館やスポーツ施設、博物館、地域センターなど**交流の拠点となる施設**も掲載しています。



#### (5)新宿生活スタートブック(冊子)・新宿生活スタートガイド(動画)

生活マナーやルールを周知することで、互いに気持ちよく生活することができます。情報は冊子と動画(区HP、Youtube)で紹介しています。

【スタートブック 冊子】



【スタートガイド 動画】



### 2 コミュニケーションを図るため「日本語学習支援」に取り組んでいます

- (1)新宿区日本語教室 10所(15教室)で、初級日本語教室を運営
- (2)日本語ひろば レベル別の日本語指導を週4回実施
- (3)子ども日本語教室(こどもクラブ新宿) 日本語と教科学習の支援を実施 小4～中3対象
- (4)日本語最初級者向け教室の運営 最初級者が、集中して学習する日本語教室を実施

### 3 相互理解を促進するため「交流事業」に取り組んでいます

地域で外国文化を紹介することにより、お互いを理解し、多文化共生意識を醸成しています。

- ・ミャンマー文化教室 ・韓国舞踊、伝統衣装着付け体験 ・タイの料理講座・文化交流
- ・ネパール・ベトナムの民族衣装の体験 ・ベトナム書道体験
- ・インドネシア・バリの「バリ猫」のペイント ・アラビア文字書道体験
- ・ネパール・ペルーの民族舞踊 ・フランスの文化交流及び料理体験



### 4 相互理解を促進するため「プラザの運営」に取り組んでいます

日本人と外国人との交流を促進し、文化、歴史等の相互理解を深め、多様な文化を持つ人々が共に生きる地域社会の形成に資するため、しんじゅく多文化共生プラザを運営しています。

多文化共生に取り組む人々を支援し、ネットワーク化を進めるため、**地域住民**や**活動団体**の**情報交換**や**活動をPR**できる場として「**新宿区多文化共生連絡会**」を運営しています。



## 第5回会議（友好都市交流事業の紹介）・異文化交流の取組

開催日 令和7年8月1日（金）

第5回会議では、新宿区の海外友好都市交流をもとに、異文化交流について理解を深めました。会議では「市民同士の交流の土台をしっかりと作ることで、自治体レベルでの友好都市提携につながる」などのご意見がありました。

### 【資料の概要】

#### ●海外友好都市

##### ◆ギリシャ・レフカダ市

明治時代の文人、小泉八雲（ラフカディオ・ハーン）は、レフカダ市に生まれ、新宿区でこの世を去りました。この絆をもとに相互に交流を重ね、平成元(1989)年10月12日に友好都市であることを宣言しました。



##### ◆ドイツ・ミッテ区

新宿区とミッテ区（旧ティアガルテン区）は、区民合唱や青少年交流などを通じて交流を重ね、平成6(1994)年7月6日に、友好協定を締結しました。



##### ◆中国・北京市東城区

新宿区と中国・北京市東城区は、老人クラブゲートボールや少年サッカー、卓球などを通じて友好交流を深め、平成7(1995)年10月15日に、友好交流・協力関係締結に関する合意書に調印がなされました。



### ギリシャ・レフカダ市との市民交流事業（受入）（令和6年10月）

▼小泉八雲記念公園の見学



▼そば打ち体験



▼書道体験



### ギリシャ・レフカダ市との市民交流事業（派遣）（令和7年5・6月）

▼小学校訪問での児童の合唱



▼民族衣装の体験



▼日本文化の紹介（けん玉）



## 第6回会議（まち歩き）・地域の実情を視察

開催日 令和7年10月29日(水)

第6回会議では、地域の実情を把握するため、他の地域と比較してフランス人が多く住んでいる笹笥町地域のまち歩きを行いました。また、地域の町会長4名を招いて、地域における多文化共生についてお話を伺いました。町会長からは「外国人が防災訓練や親睦会に参加している」などのお話を伺い、委員からは「地域ごとに特性があることを強く感じた」などのご意見がありました。

### 【資料の概要】

#### 笹笥町地域の特徴

- ・新宿区の東に位置し、北側を**神田川**、東側を**外濠**に囲まれている地域です。
- ・地形は、台地から神田川周辺の低地に向かう**坂の多い地域**です。
- ・**江戸時代**には**武家屋敷**や**町屋**、**寺社**が混在していました。
- ・**明治以降**は市街化が進み、高台の**閑静な住宅地**、神楽坂の**商業地**とともに、**工業地**として栄えました。

新宿の地場産業である**印刷・製本関連事業者**が多く立地しています。

- ・**神楽坂周辺**は、**江戸時代**の形態を今も残しており、**風情があるまち**です。
- ・文化財、寺社や坂道などの**歴史的・文化的資源**も数多くある地域です。

#### 笹笥町地域の人口（2025年1月1日）

総人口 40,475人

日本人 38,137人

外国人 2,338人 (5.8%)

\*上位3か国：中国 917人 韓国 447人 フランス 225人

\***フランス人が他の地域よりも多く生活しています。**

アンスティチュ・フランセ東京（旧・東京日仏学院）があることからフランス人が多いと考えられます。



#### 神楽坂について

- ・神楽坂は、**徳川家光**が江戸城外堀や牛込門と同時期に整備した道です。
- ・神楽坂周辺は、江戸時代の形態を今も残しており、**黒塀の続く石畳の風情あるまちなみ**を形成しています。
- ・神楽坂から裏道に入ると人目に触れにくく、**隠れ家的なまち**となっています。
- ・昔は料亭がたくさんあり、**芸者が行き交う花街**（かがい）として栄えました。現在は、昔ながらのお店がある一方、**おしゃれなレストランやバー**もあります。
- ・毎年7月に「**神楽坂まつり**」開催され、**阿波踊り**で賑わいます。



## 第7回会議（実態調査の考察）・データ分析等

開催日 令和8年1月23日(金)

第7回会議では、桜美林大学の岩垂准教授を招いて、令和5年度に実施した多文化共生実態調査に関する考察を伺いました。

岩垂准教授からは、外国人住民の人口や国籍、年齢、滞在年数などのデータをもとに、「どのように交流を進めるか」について、主に次のような考察をいただきました。

### 【考察の概要】

- ◆区役はプラットフォームとメディア（媒介、情報発信）
- ◆ビジネスパーソンと留学生の交流を中心に、地元住民との交流のきっかけ作りを各地で行うことが必要
  - ・ 地域センターの活用
  - ・ 教育機関（日本語学校、初中高等教育）における交流の促進
  - ・ 地元町会の巻き込み
- ◆特に20～30歳代の割合が高い。
- ◆比較的短期間で人が入れ替わっている可能性がある
  - ・ 町会の巻き込み+既に長年日本/新宿に居住している外国人住民と新しく来日した外国人との交流の場づくり
  - ・ 日本語の問題や日本のルール、マナーなどをざっくばらんに話し、相談し合えるような場づくり
- ◆様々な主体による交流の推進
  - ・ 教育機関における国際交流ニーズの高さ
  - ・ NPO/NGO、ボランティアの活動の活性化
  - ・ 商工会等による交流活動の活性化
  - ・ 町会の活動への巻き込み
- ◆多様な主体がそれぞれの地域において、自分たちにできるところから活動を始めて広げていくことが望ましい
  - ・ 各主体間の情報共有とネットワーク化がされることで、交流活動は充実していくことが期待される
  - ・ ただし、意欲のある牽引者を様々な主体の中で見つけていくことが重要

